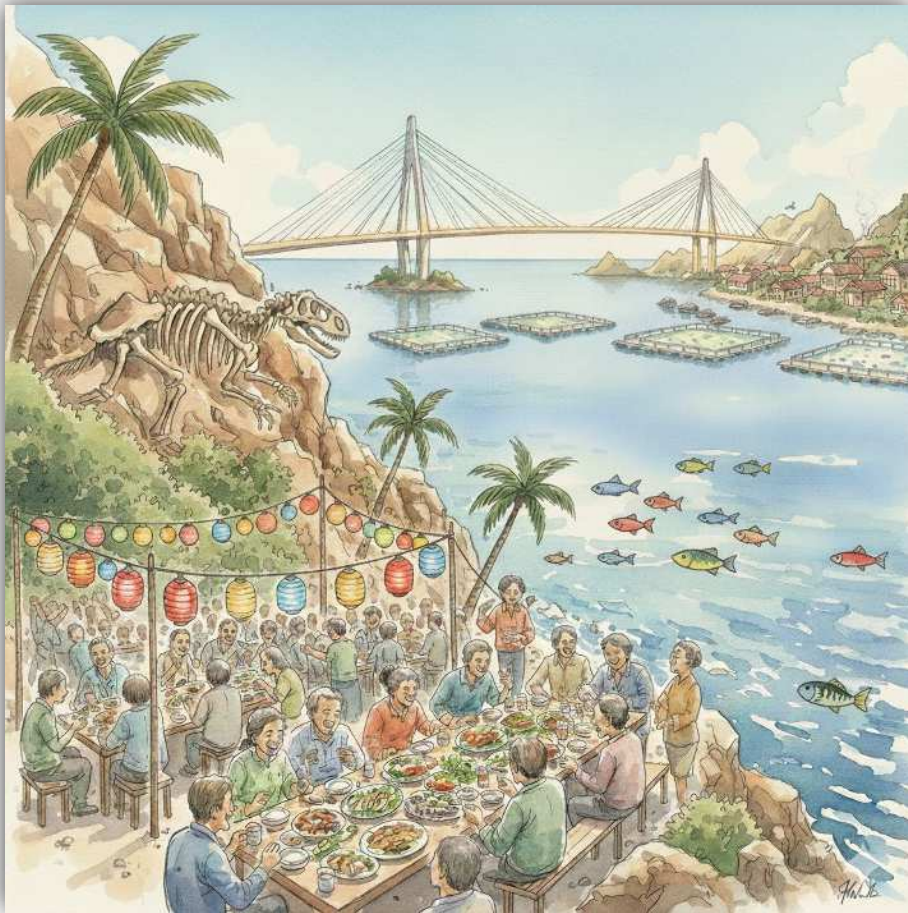


# 第4期 天草市御所浦地域まちづくり計画

～「住んでよし」「訪れてよし」のまちづくり～



天草市 御所浦地域  
令和8年度～令和11年度

制 定 日	令和8年3月
-------	--------



## 第4期天草市御所浦地域まちづくり計画 目次

### 目次

1	計画のあらまし	1
1.1	計画策定の趣旨	1
1.2	計画の性格	1
1.3	計画の期間	1
2	御所浦地域の概要	2
2.1	位置・地勢	2
2.2	現状と課題	3
2.3	面積・土地利用	3
2.4	人口・世帯数	3
3	めざす姿	8
3.1	めざす姿を実現するための方針・具体的な施策・指標	9
	方針① 安心して暮らせるまちづくり	9
	方針② 魅力づくり（地域資源等の磨き上げ）	11
	方針③ 人づくり（人材育成と郷土愛の醸成）	12
4.	計画の推進体制	13
4.1	実施	13
4.2	評価・改善	13
5	参考資料	14
5.1	中学生が感じている地域課題	14
5.2	中学生が感じている地域課題の集約とまとめ	18
5.3	まちづくり全体の相関図（イメージ図）	19
6	地区別計画	
6.1	御所浦地区振興計画	21
6.2	御所浦南地区振興計画	25
6.3	牧島地区振興計画	29
6.4	御所浦北地区振興計画	33
6.5	嵐口地区振興計画	37

## 1 計画のあらまし

### 1.1 計画策定の趣旨

平成 18 年 3 月 27 日、2 市 8 町の合併により天草市が誕生しました。市内各地域には、素晴らしい自然や独自の文化や歴史、豊かな農林水産資源、日々の生活で培われた相互扶助の精神など、全国に誇れる地域資源が数多く存在します。

しかしながら、現在の天草市では、人口減少や過疎地域の増加、少子高齢化や地域の担い手不足などにより、継続的な地域活動やコミュニティの維持が課題となっています。こうした状況の中で、地域における人々のつながりや、共助による活動の推進、また、一人ひとりが地域に対する愛着や誇りを持つことが、持続可能なまちづくりの基盤となります。

まちづくり施策を効果的・効率的に推進するには、地域住民と行政が一体となり、体系的・計画的に取り組む必要があります。そこで、本地域のまちづくりの指針として「天草市御所浦地域まちづくり計画」を策定し、「未来へ続く魅力ある地域づくり」を推進し、その実現を目指すものです。

今回、第 3 期天草市御所浦地域まちづくり計画の検証を行い、地域の課題等を再確認するとともに内容の見直しを実施しました。

### 1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本地域が目指す今後のまちづくりの基本的な方向を示しています。
- ② 本市が策定する「第 3 次天草市総合計画基本計画」と方向性を共有しながら、地域が主体となって策定する計画として策定します。
- ③ 本地域の地域住民や行政機関のみならず、まちづくり関係団体、企業、学校など、地域全体でまちづくりに取り組む方向性を示しています。

### 1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和 8 年度から令和 11 年度までの 4 年間です。

また、実現すべき施策目標を設定するとともに、その施策目標を達成するために必要な計画を示したものです。

## 2 御所浦地域の概要

### 2.1 位置・地勢

本地域は、雲仙天草国立公園内の天草諸島南東部に位置し、御所浦島・牧島・横浦島の3つの有人島を中心とする大小17の島々からなる離島の町です。

御所浦島の最高峰“烏峠”からは、鹿児島・宮崎・長崎・熊本の4県を一望できる大パノラマとコバルトブルーの八代（不知火）海を望むことができ、（公財）日本離島センターによる全国の島々を対象とした「しま山100選」にも選定されています。

1997（平成9）年の恐竜化石の発見を機に、全国的にも『恐竜の島』として知られるようになり、2024（令和6）年3月に御所浦白亜紀資料館が「御所浦恐竜の島博物館」としてリニューアルしました。化石や地層などの見どころがあちらこちらにある自然豊かな地域で、市内小学生を対象とした「地球の歴史探究学」の実施や出前講座等、自然学習や体験プログラムを活用した取り組みが充実しています。

図2 御所浦地域位置図



## 2.2 現状と課題

本地域の人口は、平成17年から令和2年までの15年間で1,297人、35.9%減少しています。

島の基幹産業である水産業は、漁業資源の減少に加え、燃料や養殖飼料の高騰、魚価の低迷によりますます深刻な状況に陥っています。その結果、雇用の場も減少し、人口の流出が止まらず、過疎化・少子高齢化が急速に進んでいます。

島民の悲願である架橋事業（一般県道龍ヶ岳御所浦線整備事業）は「御所浦町の日常生活の利便性と離島解消による地域活性化を目指す」ことを目的として、平成12年度に事業採択されました。しかし平成30年度に事業の休止が決定され、近い将来での「離島からの脱却」は極めて厳しく、これまで同様の離島環境での生活が続くこととなります。

現在、5つの地区振興会が「地域の特性を活かした地域づくり」を推進していますが、少子高齢化に伴う急速な人口減少によりコミュニティ活動が思うように進まず、地区振興会の活動継続にも不安が生じています。

しかしながら、コミュニティ活動の推進は、地域を維持・形成していくうえで極めて重要であり、希薄化しつつある地域の連帯感を醸成するには、リーダーの養成と意識改革を図りつつ活動を推進していく必要があります。

島に住む一人ひとりが意識を高め、島内外の関係機関や行政と連携し、自立と協働によるまちづくりをどのように進めていくかが、現在の大きな課題です。

## 2.3 面積・土地利用

本地域の総面積は20.61km<sup>2</sup>で、天草市面積の約3.0%を占めています。

土地利用については、全体の約89%を農地・山林で占めており、宅地・道路用地については約5%となっています。

表1 御所浦地域面積

	御所浦地域	天草市
面積 (km <sup>2</sup> )	20.61	683.82
割合 (%)	3.01	100

※国土地理院九州地方測量部 御所浦地域：2018(平成30)年10月1日現在

天草市：2025(令和7)年7月1日現在

## 2.4 人口・世帯数

表2 御所浦地域の人口、世帯数の推移

区分	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口 (人)	3,615	3,163	2,735	2,318
世帯数 (世帯)	1,366	1,245	1,157	1,060
世帯当たり人員 (人)	2.65	2.54	2.36	2.19

(国勢調査)

図3 御所浦地域の人口、世帯数の推移

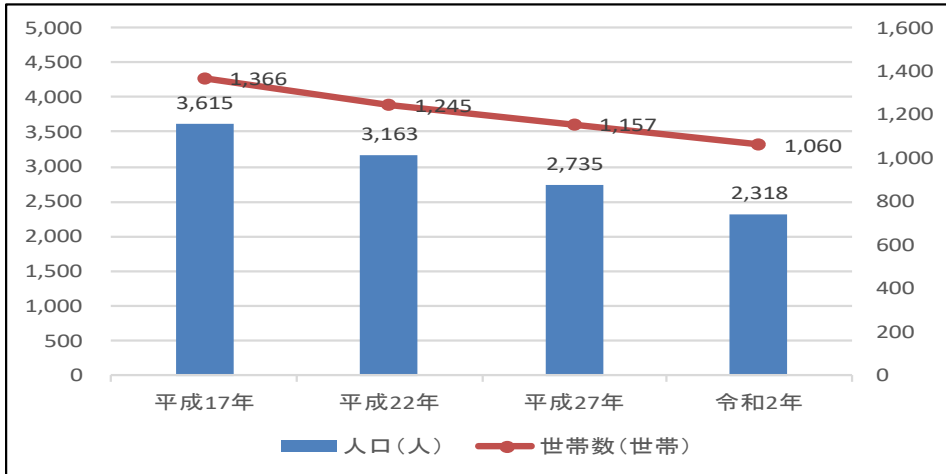


表3 御所浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
総人口	3,615	100.0	3,163	100.0	2,735	100.0	2,318	100.0
0～14歳	465	12.9	359	11.4	255	9.3	190	8.2
15～64歳	1,840	50.9	1,544	48.8	1,213	44.4	880	38.0
65歳以上	1,310	36.2	1,260	39.8	1,267	46.3	1,248	53.8

(国勢調査)

図4 御所浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移

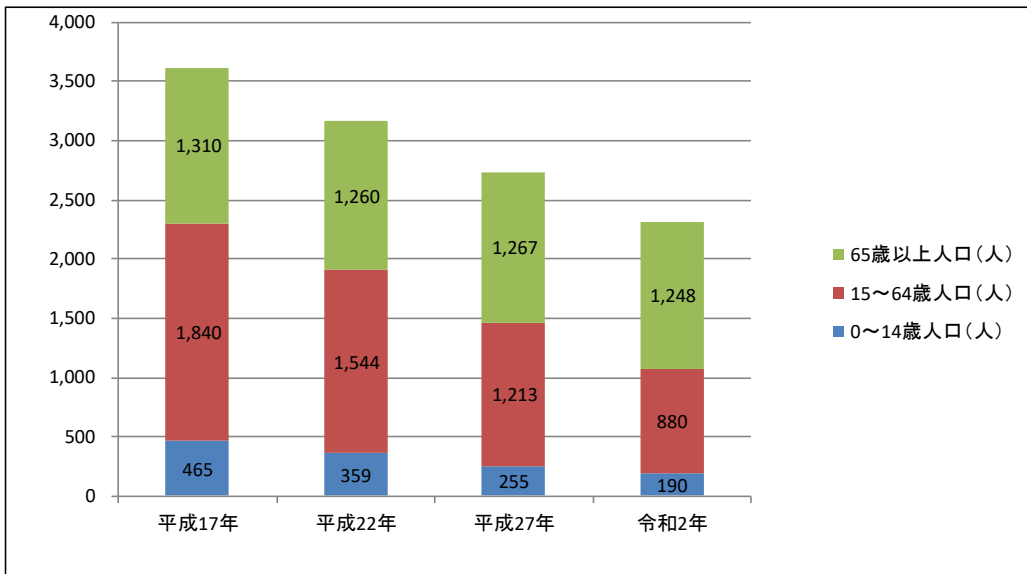


表4 御所浦地域の産業別就業者数の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
就業人口総数	1,447	100.0	1,247	100.0	1,068	100.0	950	100.0
第1次産業	570	39.4	419	33.6	337	31.5	295	31.0
第2次産業	221	15.3	165	13.2	161	15.1	124	13.1
第3次産業	655	45.3	663	53.2	570	53.4	531	55.9

(国勢調査)

※就業人口総数には産業分類不能者を含むため、産業別就業者数の合計とは一致しません。

図5 御所浦地域の産業別就業者数の推移

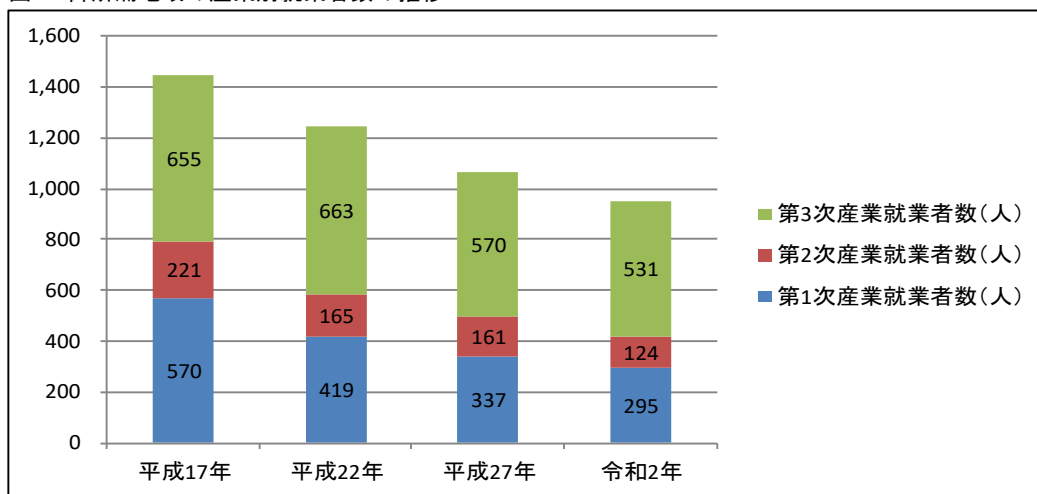


表5 御所浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）

区分	令和2年		令和7年		令和12年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
総人口	2,318	100.0	1,963	100.0	1,642	100.0
0～14歳	190	8.2	151	7.7	115	7.0
15～64歳	880	38.0	673	34.3	525	32.0
65歳以上	1,248	53.8	1,139	58.0	1,002	61.0

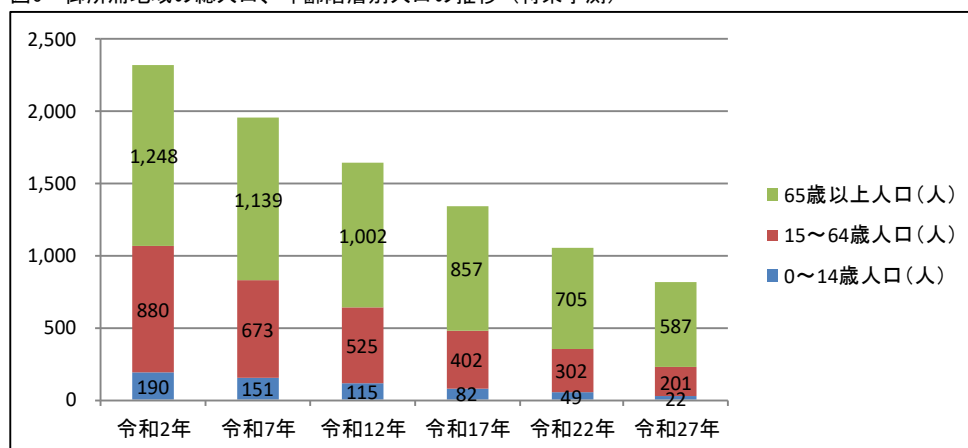
  

区分	令和17年		令和22年		令和27年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
総人口	1,341	100.0	1,056	100.0	810	100.0
0～14歳	82	6.1	49	4.6	22	2.7
15～64歳	402	30.0	302	28.6	201	24.8
65歳以上	857	63.9	705	66.8	587	72.5

(令和2年：国勢調査、令和7～令和27年：市政策企画課)

※平成22年から平成27年の国勢調査の人口推移を基に、コーホート変化率法を用いて令和2年から令和27年までの将来予測人口を算出。

図6 御所浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）



参考資料①

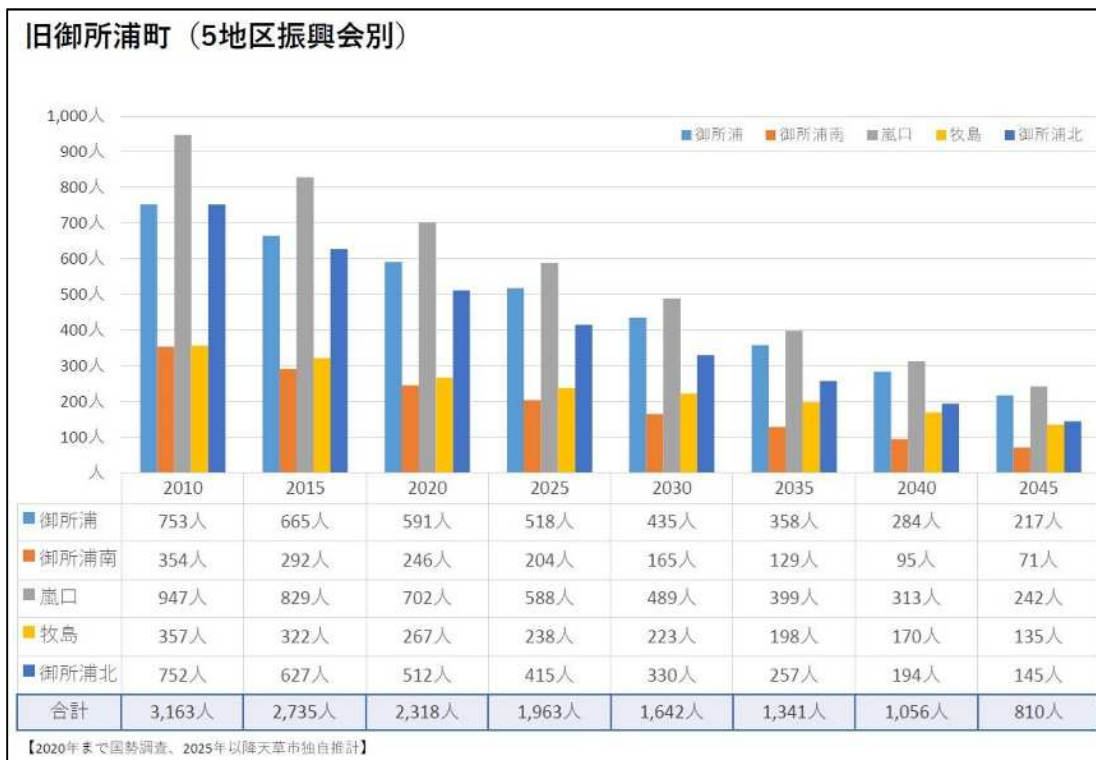
国勢調査人口の推移

昭和	(人)							
15年	21年	22年	25年	30年	35年	40年	45年	50年
6,159	8,005	8,547	9,187	9,039	8,551	7,653	6,549	5,743

昭和	平成							令和
55年	60年	2年	7年	12年	17年	22年	27年	2年
5,395	5,225	4,759	4,398	4,097	3,615	3,163	2,735	2,318

参考資料②

地区振興会単位の人口推移と将来推計



(2025年3月改定 天草市人口ビジョン)



## めざす姿

### 『住んでよし』『訪れてよし』のまち実現



目指す姿を実現するための目標

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| <b>目<br/>標</b> | 1. 御所浦架橋、特に第二架橋の早期実現 |
|                | 2. 御所浦地域振興策の推進       |
|                | 3. 島ならではのまちづくりの推進    |

目標達成のための方針

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| <b>方<br/>針</b> | 1. 安心して暮らせるまちづくり     |
|                | 2. 魅力づくり(地域資源等の磨き上げ) |
|                | 3. 人づくり(人材育成と郷土愛の醸成) |

### 『住んでよし』『訪れてよし』のまちづくり

- 医療や教育、交通など安心して暮らす(住む)ことができる島
- 訪れた人が、島の“ヒト・モノ・コト”に触れ満足することで、感想を周りに話して誰かを連れて来たり、また行きたくなる、新しい発見やヒトとの出会いが生まれる。その結果、来訪者(交流人口)が増え、島の経済が活性化し、インフラの維持・更新も進む。こうした好循環が繰り返される島づくりを目指します。

### 3.1 めざす姿を実現するための方針・具体的な施策・指標

#### 方針① 安心して暮らせるまちづくり

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療、介護、子育て、教育、防災など生活の基本機能を強化し、(住民同士の繋がりの強さを武器に)高齢者も若年層も安心して暮らせる環境と生活水準の向上を目指す。</li> <li>・移動やアクセスの利便性と生活支援を高め、不安を減少させるとともに地域の結びつきを強化する。</li> <li>・行政や事業者、住民が役割を共有し、日常の「安心の循環」をつくる。</li> </ul>
<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命の道である架橋建設が休止状態である。</li> <li>・高齢化率が50%を超えている(75歳以上30%)※R2国勢調査</li> <li>・航路補助や教育支援など、御所浦地域振興策が展開されている。</li> <li>・昭和52年からの採石事業について、県・市と連携し終掘に向けた取組みが進んでいる。</li> <li>・新設の診療所や常勤医師の配置により、医療体制の満足度は高い。</li> <li>・御所浦一島化、一体的な地域振興のために第二架橋は絶対に必要であり、要望活動等の効果的なやり方についての検討が必要。</li> <li>・1次産業従事者の減少と後継者不足。</li> <li>・御所浦北地区(横浦島)の児童・生徒の通学時の安全確保。</li> </ul>

#### 具体的な施策と指標

具体的な施策	指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 架橋建設促進のための要望活動等</li> <li>● 採石事業の終掘のための活動</li> <li>● 離島航路充実のための活動</li> <li>● 子育て世代の負担軽減策</li> <li>● 健康増進のためのニュースポーツ普及活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 架橋要望活動 2回/年</li> <li>◆ ふるさと納税額 85万円/年 ※直近5年(R2-R6)の平均値</li> <li>◆ ランドセル購入助成事業の申請割合 100%</li> <li>◆ ニュースポーツ用品利用者数 延べ500人/年 ※人口の1/4程度</li> </ul>

※参考：令和6年度市政アンケート（関連項目/満足度/地域別順位）

項目	満足度
Q33. 専門的な健診、救急医療など、市内の医療体制に満足していますか	68.6% 地域別 1 位
Q37. 困ったことに相談できる人が地域にいると感じていますか。	68.6% 地域別 1 位
Q38. 子育てしやすい地域であると感じていますか。	40% 地域別 8 位
Q45. 車や公共交通機関（バス、フェリー、天草エアライン等）などの乗り物を利用した市内外への移動がしやすいと感じていますか。	28.5% 地域別 8 位
Q47. 地域内の防災体制の整備や災害時の情報伝達手段の整備など災害に強いまちづくりが進んでいると感じていますか。	40.0% 地域別 3 位
Q56. 毎日、安心して暮らせていると感じていますか。	82.8% 地域別 6 位
Q59-⑥ひとづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所があると感じていますか。	11.4% 地域別 1 位
Q59⑩. 安心して子どもを生み育てられる社会ができていると感じていますか。	28.6% 地域別 1 位
Q59⑪. 市民が安心して暮らせる環境ができていると感じていますか	20.0% 地域別 4 位
Q59-⑫市民との協働による安心安全なまちづくりができていると感じていますか。	17.1% 地域別 2 位

※「満足度」は、満足(感じている)/どちらかといえば満足(感じている)の割合

## 方針② 魅力づくり（地域資源等の磨き上げ）

概要	化石や採石場跡地など他にない地域資源や、烏峠や夕日ヶ丘公園など離島ならではの自然資源を活かし、“学びの島”“冒険の島”づくりに取り組む。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 御所浦恐竜の島博物館開館により観光客は一定数いるが、長期滞在に繋がっていない。</li> <li>・ 自然景観や海産物、伝統行事などの資源は豊富だが、外部へ情報発信ができていない。</li> <li>・ 若年層の協働参画を促す仕組みづくりが必要。</li> <li>・ 宿泊や飲食関連事業者の高齢化による受入態勢の低下。</li> </ul>

具体的な施策	指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 持続可能な島あじマラソンの運営</li> <li>● チェンソーアートの充実・活用</li> <li>● 採石場跡地の活用検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 島あじマラソン参加者数 150 人/年 ※2026 年の募集人数</li> <li>◆ 烏峠登山(申込)者数 200 人/年 ※R5 烏峠パノラマウォーク参加者 181 名</li> </ul>

※参考：令和 6 年度市政アンケート（関連項目/満足度/地域別順位）

項目	満足度
Q14. 美しい自然や歴史・文化、美味しい食など、魅力あるまちであると感じていますか	88.6% 地域別 1 位
Q19. 地区振興会や地域の団体が主催する活動が活発に行われていると感じていますか。	62.9% 地域別 1 位
Q43. 道路や公園等の管理、地域内の美化活動等により良好なまちなみが作られていると感じていますか。	48.6% 地域別 7 位
Q59-⑧. 多様な地域資源を活かし、魅力ある観光のまちがつくられていると感じていますか。	17.2% 地域別 2 位
Q59-⑩. 豊かな自然を保全・活用し、学びの場などの仕組みができていますか。	14.3% 地域別 1 位

### 方針③ 人づくり（人材育成と郷土愛の醸成）

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島の持続的発展を支える人材を育成し、郷土愛を高めることで、外部からの人の流入と、自発的な意欲や情熱を起点に地域が自ら発展していく力を両軸で推進する。</li> <li>・住民同士の交流、来訪者との交流を通じて地域経済の循環を創出し、“稼げる島”の基盤を整える。</li> </ul>
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少等により「まちづくり協議会」や「地区振興会」の活動を実施する際の負担が年々増えている。（女性も含めた地域の担い手不足）</li> <li>・離島であるため他地域との交流の機会が少ない。</li> <li>・Uターンや地域おこし協力隊など、少ないながらも移住者がおり、若年層のコミュニティ形成が進みつつある。</li> </ul>

具体的な施策	指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 先進地視察研修</li> <li>● 海山（産山村）交流活動への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 女性委員の割合 35%(R11 年度)</li> <li>◆ 先進地視察研修 1 回/隔年</li> <li>◆ 海山交流活動への支援 1 回/年</li> </ul>

※参考：令和 6 年度市政アンケート（関連項目/満足度/地域別順位）

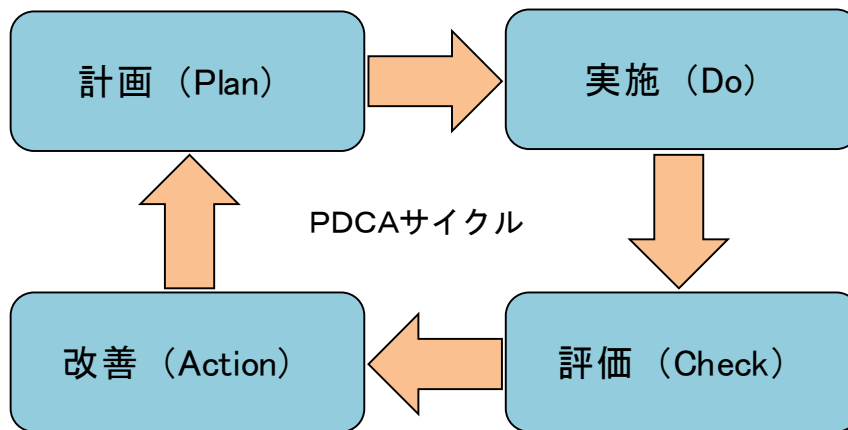
項目	満足度
Q57. 観光地や移住先として、天草市を知人・友人におすすめしたいと思いませんか。	54.3% 地域別 7 位
Q59-③生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができていると感じていますか。	8.6% 地域別 5 位
Q59-④歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されていると感じていますか。	22.9% 地域別 5 位
Q59-⑩. 豊かな自然を保全・活用し、学びの場などの仕組みができていると感じていますか。	14.3% 地域別 1 位

## 4. 計画の推進体制

本計画の推進体制については、御所浦まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図8 天草市本渡地域まちづくり計画の評価・見直し(PDCAサイクル)



### 4.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、御所浦まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて実行委員会を設置し施策の推進を図ります。

### 4.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については、毎年度1回以上御所浦まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。

## 5 参考資料

### 5.1 中学生が感じている地域課題

御所浦中学校（全学年）の探求計画書・探求報告書「探求主題の背景（※問題状況だと感じていること）」引用（令和7年度）

学年	人数	探求テーマ
1年生	8人	御所浦のここが推し！
2年生	15人	緊急指令！未来の御所浦を救え！
3年生	11人	きみの夢を探し究めよ
合計	34人	

1. 御所浦には各地区にチェンソーアートが作られている。でも僕は、チェンソーアート自体が御所浦にあることが知らなかった。まず、チェンソーアートが何なのかもわかっていなかった。きっと、御所浦の人にもチェンソーアートのことを知らない人がいるはずだと思う。そこでまずは、地域の人達にチェンソーアートのことをもっと知ってもらいたいと思った。
2. 御所浦では、漁業をする人が減っており、漁師の高齢化も深刻な問題となっている。天草市全体でみると、漁業をしているひとはこの20年で63%減少しているが、高齢化の進む御所浦ではもっと減少していると思う。このままでは、御所浦で漁師をする人はいなくなってしまったので、漁師の仕事に密着取材し、漁師の格好良さを伝えれば、漁師になりたいと思う人がいるのではないかと考えた。
3. 御所浦恐竜の島博物館ができて、御所浦は恐竜の島としてとても有名になった。化石採掘体験などもあって、御所浦では化石が見つかりやすいというイメージもあると思う。でも、御所浦には、アンモナイト館や、白亜紀の壁など、化石に関するおもしろい施設や場所があるから、もっとPRしていくと、多くの人に知ってもらえるのではないかと考えた。
4. 私のお父さんは、釣りが大好きでほぼ毎日釣りに行っている。釣りが好きすぎて、「〇〇」というニックネームで、色々なメディアに出て、情報発信もしている。例えば、新聞では「釣りタイム」というコーナーの記事を書いたり、ラジオにも出演している時もある。また、私の妹は兄弟の中でも、一番の釣り好きで、よくお父さんと一緒に釣りをしている。妹は、自分なりに魚釣りの研究をしていて、とても勉強熱心だと思う。お父さんは釣りのことを取り上げたSNSもやっていて、妹もよく出ている。でも、釣果や釣れた魚の紹介だけではなく、魚のさばき方や、釣りのテクニックなどを取り上げれば、もっと見る人が増えるのではないかと考えた。
5. 私は御所浦の太鼓が好きで、頑張って練習しているが、披露する機会が春日神社のお祭りの時しかないのも、あまり知らない人が多い。最近では、子どもの数も減ってきていて、太鼓に参加しない人も増えてきている。御所浦の太鼓の楽しさや格好良さを伝えれば、たくさんの方が参加してくれて、今後も長く受け継いでいけるのではないかと考えた。
6. 鳥峠は御所浦を一望できる魅力的な場所であるが、その良さはまだ十分に知られていない。そこで、“どこでもドア”のようなフォトスポットを設置し、その写真がSNSで拡散さ

れることで、鳥峠の魅力を広く発信され、より多くの人に知ってもらえるのではないかと考えた。

7. 「よいとんご」は御所浦地区で行われている行事で、他の地区の人にはあまり知られていない。前に、自分が友達によいとんごについて話していると、「良いトンゴってナニ？」と言われたことがあって、よいとんごを知らない人もいると知って驚いた。私はよいとんごの活動がすきだから、御所浦以外の地区の人にも、もっとたくさん知って欲しい。
8. しおさい館は、地元の食べ物や飲み物、お土産などがたくさんあり、訪れる人が楽しめる魅力的な場所である。もっと詳しく紹介することで、多くの人にその良さを知ってもらい、実際に来てほしいと考えた。そこで、売れ筋商品のランキングを作成し、商品をわかりやすく提示することで、来館者が買い物をしやすくなる工夫をしたい。
9. 御所浦といえば、島あじマラソンか恐竜の島博物館が有名だと思う。でも、博物館の来場者も落ち着いてきていて、博物館だけではリピーターの確保は難しいかもしれない。そこで、ラン・スイム・バイクのあるトライアスロン大会を開催すれば、御所浦の自然の良さや景色、食べ物のおいしさ、人の良さを知ってもらえ、また御所浦にきてもらえるのではないかと思った。また、御所浦は家族向けの観光地だと思うので、家族みんなで協力して競技を行う、リレートライアスロンにすることで、家族の集客に繋がれると思う。
10. ここ数年、農家ではほうれん草などが枯れてしまうと聞いたことがある。農家のおじいさんたちは、「最近、気温が上がっていっているから」と言われているが、実際に気温上昇が原因なのか、他に原因があるのか、もし気温上昇が原因だった場合、どれくらいの影響があるのかを探究したいと考えた。農作物を実際に育てて分かったことを、これからの農業に役立てたい。
11. 観光客が博物館以外に何があるか知らずに、博物館を見終わったらすぐ帰ったり、一度来て御所浦にもう来なかったりすることが多い。御所浦での滞在時間や、何度も足を運んでもらう仕組みを作り、オリジナルのHPで広めたい。
12. 御所浦は、高齢化が進んでいるのに対し、御所浦で働く人は、少ない。そのため、近年では御所浦の外国人労働者が増えている。若者が少ない御所浦にとって、外国人労働者は貴重な戦力だから、その人たちが住みやすい町や職場を町全体で整えてあげる必要があると思った。
13. 御所浦の地名の成り立ちについては、結構興味深いことがたくさんあるのに、知っている人が少ない。御所浦の、幅広い世代の人に知ってもらい、御所浦の魅力の1つとして残していきたい。
14. 御所浦はみかんも特産のひとつで、盛んに栽培されている。だけど廃棄になるみかんも多いと聞く。現在では、それを果汁にしてパックでしおさい館で売ってあり、しおさい館の方たちも、果汁の販売や活用方法を試行錯誤されているらしい。御所浦特産のみかん果汁をお土産品に活かす方法を考えると、廃棄みかんを有効活用できるのではないかと考えた。
15. 農家の人たちの作物がイノシシに荒らされて、作れる量が少なくなって困っている。農家以外の人、家の近くでイノシシが出てきて、怖いと感じている。
16. 御所浦は高齢者の割合が54%と多い。高齢者は出かける機会も減って運動不足になって

いくと思う。そこで、高齢者がデイサービスや自宅で無理なくできるご当地体操を考えれば、健康寿命を延ばせるのではないかと思った。また、地域行事などで、取り入れてもらえれば、若者と高齢者が一緒に取り組み、地域全体の絆が深まると思う。

17. 博物館に訪れる人は多くなっているが、リピーターが少ないことや、滞在時間の短さが問題だと感じる。また、化石ディグ(化石採掘体験)が体験活動としてあるが、外での活動のため、天候に左右される。博物館の展示室等を活用したワークショップや体験活動のバリエーションを増やせば、リピーターの確保に繋がると思った。
18. お盆や正月にたくさんの方が帰省してきて売上が上がっていき、11月に新しい味の塩キャラメル味が開発され、一旦売上が上がった。でも今では、ごしょロールの売上がだんだん下がってきている。一個の値段や販売形態を見直していかないと、売上がなかなか上がらないかと思った。
19. 御所浦で毎年赤潮が発生し養殖魚などが死んでいる。御所浦は漁業による利益の割合が大きいため、このまま毎年のように赤潮によって大きな被害が出続けると経済的打撃が大きい。これからも赤潮によって養殖業などの利益が減ってしまうと、養殖の仕事につく若者も減ってしまうのではないかと思った。
20. 御所浦町の人口は約54%が高齢者で高齢化率が高い。高齢者は外出が億劫になる人が多いので、運動不足が悪化してしまう。そこで、ゆるスポーツを考案して、デイサービスなどで取り入れてもらえれば、運動不足が解消されるし、高齢者の気分も上がるのではないかと思った。
21. 御所浦では、近年、外国人労働者や、SNSなどを通じて御所浦の魅力を知った外国人観光客が増加している。でも、公共施設、交通機関、飲食店、観光地などでは、日本語以外の情報提供が不足している。そのため、外国人が道に迷ったり、緊急時に適切な情報が得られなかったり、買い物や食事の際に不便を感じたりするといった問題が発生している。外国人の方が安心して御所浦で過ごせる環境を整備することは、貴重な外国人労働者の生活の質向上だけでなく、御所浦の観光振興や地域活性化にも繋がると考えられるから。
22. 御所浦には、方言や独特のイントネーションがあるけれど、最近の若い人や子どもたちはあまりその御所浦弁を知らない。御所浦独特の表現を、若い世代に浸透させて、どうにか残していきたい。
23. 御所浦には、どの地区もお店が少なく、その店舗も午後10時には閉まってしまう。また、中学生に将来御所浦に住むかたずねたところ、多くの方が御所浦を出たいと考えていて、その理由として「コンビニがない」と答える人が多かった。もし、御所浦にコンビニが1軒でもあれば、少しは若者が御所浦に残る選択肢を考えてくれるかもしれない。
24. 御所浦は釣りが有名で釣り客の人がたくさん来るけど釣り場の使い方が悪く、釣り具の入っていた箱や切れた糸などのゴミが落ちていたり海に捨てていたりしていること。
25. 御所浦に博物館ができてから、御所浦に来てくれる人が増えた。だけど御所浦といえば博物館というイメージしかないため、御所浦に来た人が博物館に行っただけで昼くらいに帰ってしまう人が多く、滞在時間が短い。そのため、御所浦付近にしか観光客がいかなく、経済的効果が少ない。

26. アイラップの存在を先生方に教えてもらい、調べていくと、いろいろなことに使えることが分かった。とても便利で使いやすいのに、まだそんなに知られていないことがわかった。お年寄りや子どもでも、簡単に時短調理ができるので、災害時にスムーズに活用できるよう、日頃からアイラップを普及できると良いのではないかと思う。
27. 御所浦は、釣りで有名で釣り客が来ているけど根掛かりなどをし、糸やルアーが残り環境を汚染している。
28. 学校では全国的にタブレット端末が導入されてきて小学生も使っている。でも、小学生の中にはタイピングが苦手な打つのに時間がかかっている人もいると思う。そのため、小学生が楽しくタイピング技術を向上させられるようなゲームを作りたいと思った。
29. 横浦島に夕日ヶ丘公園という公園が山のなかにあるが、あまり知られていない。地区振興会の人草刈りをしたり、整備をしたりしているけれど、地元の人あんまり行ったりしていない。
30. 観光で御所浦を訪れる人は多いが、決まった場所にしか行かず、御所浦の素晴らしい景観をまだまだ知らない人が多い。私は絵を描くことが好きなので、手書きのマップを作って観光客に使ってもらえば、御所浦の色々な場所を訪れてもらえるのではないかと思う。
31. 日本には素晴らしい伝統文化があるが、後継者が不足している。(伝統工芸) 伝統文化の担い手のうち、70%以上が60歳以上のため、早急に後継者の確保しなければ、日本の大切な伝統文化が失われてしまう可能性がある。
32. 御所浦は釣りの名所だと思うから、もっと釣り客を呼びたいけど、釣り客の中にはマナーが悪い人もいて、御所浦の人たちは困っている。そこで、釣り客に釣り場のマナーを伝えれば、釣り客の人も御所浦に住んでいる人たちもみんな楽しく釣りができると思う。
33. 少子高齢化で医療現場や介護施設での看護・介護の需要が高まっている。それに対して2026年度までに必要とする介護職員に対し現状約25万人が不足しており、人材不足が深刻化している。高齢者の増加や医療の担い手不足により、医療提供体制の維持が懸念されている。正規雇用看護師の離職率は約1割を超え、特に経験を積んだ看護師ほど多忙な傾向がある。さらに、医療ドラマなどの影響により、看護師の仕事が過酷であるといったイメージが先行し、看護職志望者が減少している可能性も指摘されており、人材確保に課題があると考えた。
34. SDGsの課題の一つにも挙げられている海洋ゴミの影響で、海の生物や人にも影響が出ている。現に、御所浦の海にもペットボトルやビニール袋のゴミが多く浮いている。海洋ゴミで海が汚れていると、泳ぐこともできないし、御所浦の魅力である海が汚れていくのは良くないと思った。

## 5.2 中学生が感じている地域課題の集約とまとめ

中学生が感じている課題は、いくつかの共通テーマに集約できます。その中でも、特に多くの項目で繰り返し言及され、影響範囲が大きいものを「上位 3 項目の課題」として整理すると、以下の 3 点が挙げられます。

※「5-1 中学生が感じている地域課題」を独自に集約・まとめたもの。

---

### 1. 高齢化・人口減少と担い手不足

- 該当例 2.12.16.20.23.33 など
- 概要

御所浦では高齢化が非常に進んでおり、漁業・農業・医療・介護・地域行事など、あらゆる分野で担い手不足が深刻化している。若者が島を離れる傾向も強く、将来の地域維持そのものへの不安が大きな課題となっている。

---

### 2. 観光の一極集中と滞在時間・リピーターの少なさ

- 該当例 3.9.11.17.25.30 など
- 概要

恐竜の島博物館の知名度は高い一方で、観光客の行動が博物館周辺に偏り、滞在時間が短く、再訪につながりにくいという問題がある。御所浦には他にも魅力的な自然・文化があるが、十分に知られていない。

---

### 3. 地域資源・文化・魅力の認知不足と発信力の弱さ

- 該当例 1.5.7.13.22.29 など
- 概要

チェンソーアート、太鼓、地域行事、方言、地名の由来など、御所浦ならではの資源が多く存在するが、地元の人や若い世代も知らないケースがある。魅力を「伝える・残す」仕組みが弱いことが課題となっている。

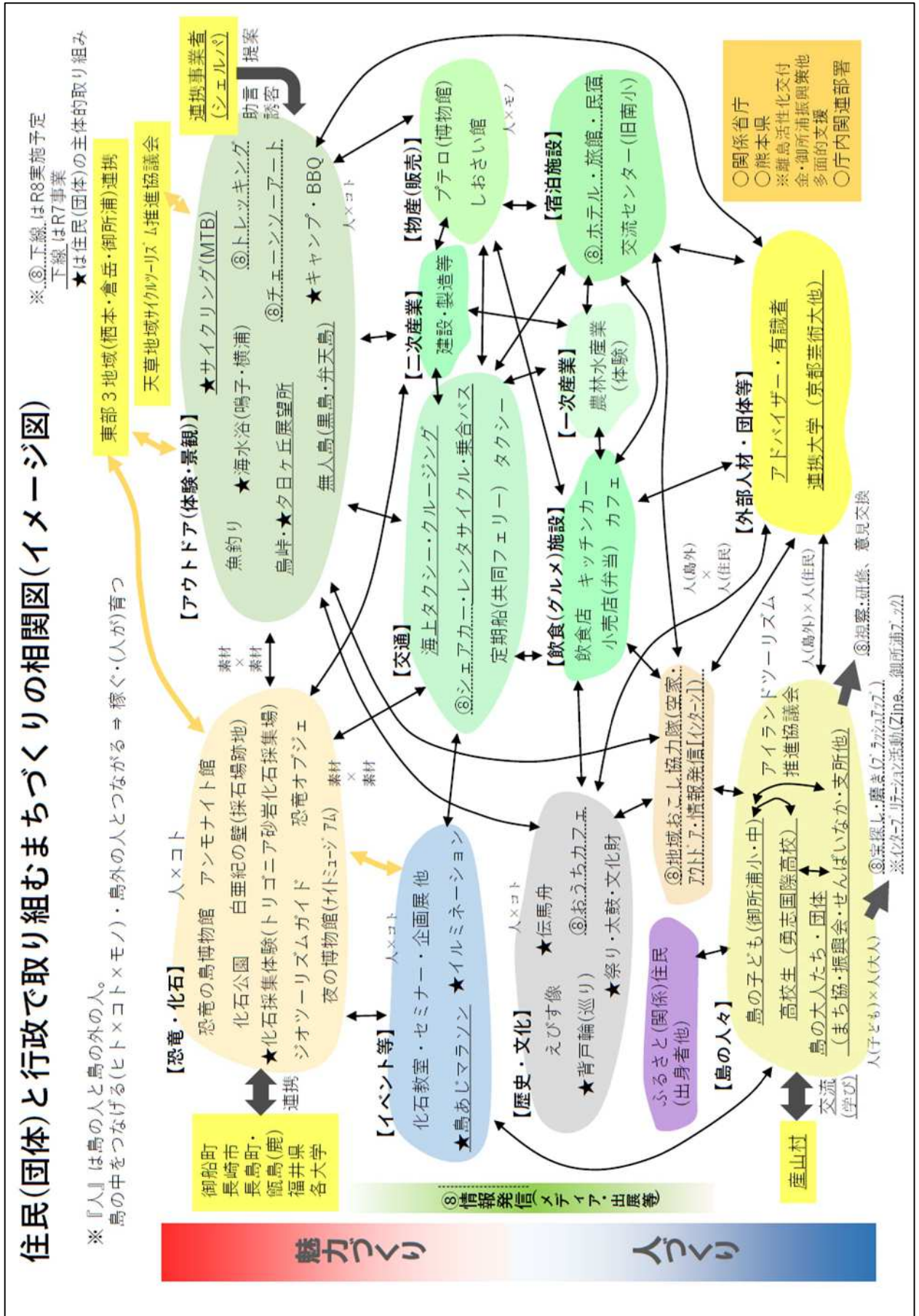
---

### まとめ（上位 3 課題）

1. 高齢化・人口減少による担い手不足
2. 観光の一極集中と滞在・再訪の少なさ
3. 地域の魅力・文化が十分に知られていないこと

この 3 点は互いに関連しており、発信力の強化や若者の関与を増やす取り組みが、複数の課題解決につながることを読み取れます。

### 5.3 まちづくり全体の相関図 (イメージ図)



# 6 地区別計画

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km <sup>2</sup> )		39km <sup>2</sup>
人口(人)	総人口	665
	15歳未満	64
	15～64歳	286
	65歳以上	315
高齢化率(%)		47.4
就業人口(人)	第1次産業	62
	第2次産業	36
	第3次産業	170
世帯数(世帯)	総世帯数	270
	高齢単身者	103
行政区数(区)		3
学校	御所浦小学校、御所浦中学校	
文化財・史跡	天満宮の樟、ともづな石、東岸寺五重塔、唐木崎五重塔、近衛殿跡、祇園社	
その他地域資源	花岡山化石採取場、烏峠、御所浦恐竜の島博物館、	
地域伝統芸能	御所浦太鼓保存会、獅子舞	
地域づくり団体	老人会	
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所同士で挨拶を欠かさないこと等、人間性が豊かである。</li> <li>・烏峠頂上からの景観が360度望める等、自然豊かである。</li> <li>・御所浦町の中心部に位置し、官公庁や観光施設・金融機関など生活に欠かせない施設が多く存在する。</li> </ul>		
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島であり交通手段が乏しく、不便である。(決まった時間にしか動けない)</li> <li>・基幹産業である水産業の衰退に加え、地域で就労できる環境がない。</li> <li>・就労の為に人口の流出が激しく、特に若者が出ていくため地域の高齢化が進んでいる。</li> <li>・人口流出や高齢化の影響で耕作放棄地が多く、地域の景観を損ねている。</li> <li>・人口流出の影響で空き家が増えている。</li> </ul>		



◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<b>おもてなしの心溢れる地域づくり</b>
考え方	御所浦地域には、令和6年「御所浦恐竜の島博物館」ができ、来島者と接する機会が増加しています。しかし、地域からの人口流出が増加している中、来島者に対するおもてなしの心を持って接することで、交流人口の増加や地域の活性化へつなげていくことが必要である。また、来島者との交流を通じて、地域の魅力を再発見することにより、活力ある地域づくりを行う。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済		
【B】 観光 ・ 文化	・令和6年3月に「御所浦恐竜の島博物館」が開館し、来島者は増加している。今後はさらに来島者の増加は期待できると思われる。しかし、御所浦島の滞在時間が短いように感じられる。	・来島者の増加に伴い、地区内の観光案内の需要が高まると予想されるため、地区内の観光名所について案内できるように学習会などひらき、地域のおもてなし向上を図る。
【C】 地域 振興	・地区住民が参加し楽しむことができる行事(夏祭りやスポーツ大会・竹灯籠)等実施しているが、高齢化や人口流出に伴い、参加者が減少傾向にあり、事業内容や実施体制を見直す必要がある。	・地区住民全員が参加し楽しむことができる行事を行うことで、地域で豊かな創造を図っていく。又、地域への理解を深め、伝統行事の継承と地域への愛着心を醸成していく。
【D】 教育	・地域の歴史や自然について理解を深める教育講座を再開した。	・地区住民による街頭指導や伝統芸能の継承を通じて、児童生徒と地区住民との交流を図り、「地域の子供は地域で育てる」意識の向上を図る。
【E】 保健・医療 ・福祉	・高齢者の長寿を祝うため敬老会を実施している。	・世代間交流を図ることにより、高齢者福祉に対する理解向上に繋げていく。又地区住民の健康増進と、健康に対する意識向上を図る為、気軽に参加できる健康活動等を実施する。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・定期的な美化作業や花壇整備により、地域環境は良好となっている。	・「地域の環境は良くて当たり前」という意識で、年数回清掃作業等を実施する。作業に当たっては、地区住民全体で行うことで、住民の環境に対する意識向上を図る。
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

# 御所浦地区振興計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
C	門松づくり	御所浦の玄関口である本郷港に門松を製作し、設置する	年に1回実施する						振興会	環境地域づくり部会
C	十五夜	中学生が中心となつて行う十五夜の綱引きや、相撲大会の支援を行う。	中学生全員に協力してもらう。						振興会	環境地域づくり部会
C	地区行事助成事業	各地区の行事に対して助成金を出し行事を盛り上げる。	各行事に参加する人数を10名増やす。						振興会	環境地域づくり部会
C	夏まつり花火大会	花火大会は令和7年度で終了となるが、夏祭りは今後も引き続き継続する。(精霊流や、会場に夜店を出店し、帰省客と一緒に楽しむ)	夏に年1回行う						振興会	実行委員会
C	地区広報誌発行	振興会の事業について広報誌を発行し、振興会活動の周知を行う。	年3回発行し地域住民や、ふるさと応援寄付者へ送付する。						振興会	事務局
H	視察研修	今後のまちづくりの参考のため、先進地の取り組みを視察し交流を行う。	年1回実施する。						振興会	事務局
C	スポーツ大会	年齢や性別関係なく、子供から高齢者まで楽しめるグラウンドゴルフ大会を実施し、健康増進と地域の親睦を図る。	年1回実施し、参加者を40名以上に増やす。						振興会	福祉教育部会
F	地区清掃活動	地域の公園や道路などの清掃活動を行う。	年に4回以上実施する。						振興会	環境地域づくり部会
E	敬老会	御所浦地区の敬老者に案内を行い、式典を実施する。併せて演芸などを行い、気分転換を図り楽しんでいただく。	75歳以上の敬老者を対象に9月に実施する。						振興会	福祉教育部会
F	花壇整備事業	各地域の花壇の花植え替えや清掃活動を行う。	花壇整備は年に2回、清掃活動は4回行う。						振興会	女子部会
D	教養講座	地域の歴史や自然について、また令和6年に恐竜博物館がリニューアルオープンしたこともあり、御所浦にある化石スポットなどの観光名所について、知識を深める内容の講座など行う。	年1回以上実施し参加者を15名以上に増やす。						振興会	福祉教育部会
F	竹灯籠桜まつり	桜開花前から一月期間ほど時間をかけ、夜間提灯と竹灯籠の明かりで桜を満喫し、花見などを行い、地域住民の憩いの場をつくる。	年に1回実施する。						振興会	環境地域づくり部会
D	異文化交流	御所浦にはミャンマーやインドネシア・中国など外国の方が就労しています。その方々と交流することで、文化の違いを考え感じ、共有する。	年に1～2回実施する						振興会	女子部会

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。



地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km <sup>2</sup> )		2.5
人口(人)	総人口	246
	15歳未満	4
	15～64歳	97
	65歳以上	145
高齢化率(%)		58.9
就業人口(人)	第1次産業	32
	第2次産業	8
	第3次産業	49
世帯数(世帯)	総世帯数	122
	高齢単身者	29
行政区数(区)		2
学校		
文化財・史跡	元浦阿弥陀仏像、松依姫塚、肥後さざんか	
その他地域資源	弁天島、観世音菩薩、恐竜足跡化石	
地域伝統芸能		
地域づくり団体	婦人会・老人会	
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・海、夕日がきれい</li> <li>・島々が美しい</li> <li>・人がやさしい、おおらか</li> <li>・花がいっぱいで美しい</li> <li>・仲が良い</li> <li>・協力性が高い</li> <li>・健康意識が高い</li> <li>・犯罪が少ない</li> </ul>		
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の一人暮らしが増えている。</li> <li>・若い世代が少ない。</li> <li>・雇用の場がない。</li> <li>・空き家が増加傾向にある。</li> <li>・高齢者の集う場所が少ない。</li> <li>・店が少なく買い物が不便である。</li> <li>・人口減少により除草清掃などの負担が増えている。</li> </ul>		



(元浦の高台から見た元浦漁港と弁天島)

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<b>心癒される、スローライフなまちづくり</b>
考え方	御所浦南地区は、町内でもゆったりとした時間が流れる地区である。南地区の温かい人柄に囲まれて、子供から高齢者まで安心して暮らせるまちづくりを目指す。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	高齢化や後継者不足により、産業も衰退し、雇用の場がないため若年層が減少している。	地元より通勤や通学ができるように、定期船の増便などの実現にむけて地区振興会でも協力しなければならない。
【B】 観光 ・ 文化	地区内の花壇やフラワーポットの定期的な管理や整備が必要と思われる。また、地区住民の環境に対する意識を向上させなければならない。	修学旅行などで、地区を訪れる観光客のために地区内を花いっぱいになりたい。
【C】 地域 振興	誰でも気軽に参加できる行事等の実施が必要である。また、地域の高齢者と子どもたちのふれあう機会が少ない。	子どもは大人と関わりを持つことで学校では得られない様々な知恵や知識を得ることが出来る。そのため、子供と大人が交流できる場を作り、互いが協力し合いながらできる事業を行っていききたい。
【D】 教育	あらゆる場面で子供の存在が地域を明るくする材料の一つだと思うが、そもそもの絶対数が少ない。 (園児1人・小学生3人・中高校生0人)	数少ない子ども達が地元を離れず、愛着を持っていつまでも住んでいたい地域にするためにも、様々な地域活動で活躍してもらえるように取り組んでいきたい。
【E】 保健・医療 ・福祉	健康志向が高まっており、ウォーキングをする住民が多くいる。また、「通いの場」に参加する住民も増えてきている。	子どもから高齢者まで誰でも気軽に参加できる行事やスポーツ等を行い、地区住民の健康増進を図りたい。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	地区の住民による定期的な美化作業により地域環境は良好になっているが、一部の住民しか意識が向上していない。また、防災については、近年、自然災害が多発しているため自主防災部会のさらなる強化を図る。	美化作業は、地域住民全体で行うことで、地域住民の環境に対する意識を向上させながら、地域の環境整備を図っていききたい。また、年1回は防犯防災の講習や訓練を実施していきたい。
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

# 御所浦南地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
B	弁天島地域花見会	合併前からの伝統行事。弁天島清掃、地区内清掃を行った後に地区住民で花見会を開催する。 (70人を越える地域住民が集う)	1世帯1人の参加 (約100人)						地区振興会	
E	敬老会	75歳以上を対象に式典を行い、会食の場を設け長寿をお祝いする。	対象の70%以上の出席(約60人以上)						地区振興会	
D	子供健全育成事業	十五夜の行事。五穀豊穡祈願を行った後、子どもを交えて綱引きをする。	伝統として開催を継続する。						地区振興会	
F	おねび焼	1月7日のおねび焼(どんどこ焼き)を当地区では4か所で実施。	伝統として開催を継続する。						地区振興会	
F	クリーン作戦	グラウンドの除草や道路・海岸沿いの清掃作業を行い環境美化を図る。(年4回)	全世帯の70%の参加						地区振興会	
C・E	スポーツ大会	グラウンドゴルフやウォーキングといったスポーツイベントを開催し、健康増進と住民同士の交流を図る。(年1~2回)	全世帯の70%の参加						地区振興会	
F	防災訓練	防犯パトロールを行い、地区住民の防犯意識を高める。また、消防に依頼してAEDや消火器の取り扱い講習を実施。	毎年各1回ずつ開催						地区振興会	
F	花の植栽活動 (花いっぱい運動)	年間を通して花のある地域づくりをめざし、年2回市から配布される花苗の植栽を行う。	9団体(現在)						各団体	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。



地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km <sup>2</sup> )	5.6km <sup>2</sup>	
人口(人)	総人口	267人
	15歳未満	34人
	15～64歳	109人
	65歳以上	124人
高齢化率(%)	46.4%	
就業人口(人)	第1次産業	30
	第2次産業	16
	第3次産業	51
世帯数(世帯)	総世帯数	135世帯
	高齢単身者	36
行政区数(区)	3区	
学校	勇志国際高等学校	
文化財・史跡	<p>【史跡】 黒崎古墳、串ヶ崎古墳、田ノ尻古墳、牧向古墳</p> <p>【天然記念物】 アンモナイト化石、あこうの木</p>	
その他地域資源	ニガキ化石公園、義経の舟隠し	
地域伝統芸能		
地域づくり団体		
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>		
<p>人柄がよい、人情がある／地域のまとまりがある／ハマボウやあこうの木など自然が豊か／静かな入り江／伝馬船／田ノ頭からの夕日／恐竜だご(だんご)／源平にまつわる言い伝えがある／アンモナイト館／熊本オイスターを作っている／高校がある／すぐに海で泳ぐことができる／ドライフラワーズ(旧 桃太郎一座)</p>		
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>		
<p>交通(船・バス)の便が悪い／若者が少ない／人口減少／空き家が多い／店が少ない／イノシシの被害／猫が多い／水路・排水溝の未整備／公衆トイレが少ない／通学路が暗い／地域の人が集う機会が少ない</p>		



(直径60cmの巨大アンモナイトがあるアンモナイト館)

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<b>みんなが集い、笑顔が生まれる「牧島」</b>
考え方	住民のすべてが何らかの形で地域づくりに参加し、子どもから高齢者まで笑顔になれるようなまちづくりに取り組みます。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【B】 観光 ・ 文化	九州最大級のアンモナイト化石や源平にまつわる言い伝え、あこうの木など様々な資源がある。また、希少蝶のクロツバメシジミや、絶滅危惧種のツメレンゲの生息地でもある。	○豊かな環境と誇りに満ちた島づくり ・自然資源を維持保全し、自然豊かな観光地として情報を発信していく。
【C】 地域 振興	子どもから高齢者まで地域みんなが楽しめるイベントを開催(夏まつり、グラウンドゴルフ大会)している。	○豊かな環境と誇りに満ちた島づくり ・多くの住民が参加できる事業を実施する。
【E】 保健・医療 ・福祉	長寿を祝うため敬老会を実施している。	○“ひと”が穏やかで安心して暮らせる島づくり ・子供と高齢者向けの事業を実施する。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	非常時の避難に不安がある。	○“ひと”が穏やかで安心して暮らせる島づくり ・高齢者が安心して生活できる見守り体制と生活環境を整備する。

# 牧島地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期			長期			
				R8	R9	R10	R11	5年以上		
B	環境美化事業	きれいなまちを目指し、清掃作業を実施する。また、小中学生に積極的な参加を促し世代間交流を図る。	130人以上の参加						振興会	
B	ホームページ管理・運営	活動状況や地区の風景等を掲載する。	週1回以上の更新						振興会	
C	夏まつり	子どもから高齢者まで楽しめるイベントとしてステージ発表、出店を行う。	来場者数170人以上						振興会	
C	グラウンドゴルフ大会	地区住民及び勇志国際高等学校生徒が参加し、世代間交流や健康増進のために年1回実施。	40人以上の参加						振興会	
E	敬老会	80歳以上の高齢者を対象に式典や園児・地区住民による演芸を披露する。また、ダイヤモンド婚や金婚夫婦を表彰する。	80歳以上の参加者20人以上						振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。



地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km <sup>2</sup> )	1.1	
人口(人)	総人口	512
	15歳未満	40
	15～64歳	201
	65歳以上	271
高齢化率(%)	52.9	
就業人口(人)	第1次産業	85
	第2次産業	18
	第3次産業	130
世帯数(世帯)	総世帯数	228
	高齢単身者	53
行政区数(区)	3	
学校		
文化財・史跡	(その他の文化財) ・平家の落人の位牌(弁慶ヶ岳山頂) ・洪屋大神(横浦)・志波大神(与一ヶ浦) ・しばしまさん(崎浦)・地藏さん(杉浦)	
その他地域資源	・弁慶ヶ岳 ・横浦島の不整合 ・えびす像 ・夕日ヶ丘公園	
地域伝統芸能	・獅子舞 ・太鼓 ・神輿	
地域づくり団体	・一心会 ・与一ヶ浦獅子舞会 ・横浦クラブ ・青年団 ・婦人会 ・崎浦クラブ・老人会	
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然豊かで島ならではの風景がある。</li> <li>・人と人との繋がりが強い。</li> <li>・風習や文化など、島ならではのものがある。</li> <li>・「えびす像」など珍しい資源がある。</li> <li>・事件や事故が少なく安心して暮らせる。</li> <li>・島一周(5.3km)ができ、小さいながらまとまっている。</li> </ul>		
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化による高齢化率の上昇と人口減少。</li> <li>・人口流出による空き家の増加。</li> <li>・漁業等の後継者不足。</li> <li>・水産資源の減少。</li> <li>・自然災害が多くなっている現状にて、高齢者等の避難誘導や安否確認。</li> </ul>		

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<b>暮らしやすい魅力あふれる島づくり</b>
考え方	横浦島には島特有のきれいな景観と人情と、ゆったりとした時間が流れる風情が残っている。その島特有の景観を残しつつ、地域の特性である互助意識を高め、地域の方々が安全で安心して暮らしやすい環境を整え、島の宝を再発見し、利活用に繋げて、交流人口の増加を図り、活気のある横浦島にしていきたい。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・水産業 ・運搬業	海の日に、海岸道路や海の清掃活動を行う。 ●一日一汗運動の実施
【B】 観光 ・ 文化	・観光客を呼び込めるイベントが少ない。 ・観光客が気軽に立ち寄れる拠点施設がない。	横浦島の魅力を発信するとともに関係人口の創出・拡大を図る。 ●よこらじまキャンプの実施 ●夕日ヶ丘公園整備
【C】 地域 振興	・少子高齢化が進んでいく中、地域振興の担い手の減少や地域コミュニティを引き継いでいくことが困難になりつつある。	夏に帰省客との交流の場として、各地区で納涼祭を開催する。また、運動会については、住民同士の融和・親睦を深める事ができる内容に改善していく。 ●地区祭りの実施 ●運動会の開催
【D】 教育	・急速に進む少子化と人口減少により、児童生徒が激減している。	地域の宝である子ども達が体験を通じて健全な心身を育成し、「横浦島」に対する郷土愛を深めてもらう。 ●青少年育成事業の実施
【E】 保健・医療 ・福祉	・高齢者世帯の増加に伴い、高齢単身者も増加傾向にあり、高齢者の孤立化を防ぐ必要がある。 ・参加者の固定化や減少が見られる。	子どもから高齢者まで誰もが参加できるスポーツイベントを実施し、住民の健康・体力づくりを積極的に推進する。また、子どもと高齢者の交流の場を作り、生きがいや意欲の向上を図る。 ●ミニバレーボール、グラウンドゴルフ、ウォーキング大会の実施 ●敬老会の実施 ●ニュースポーツの啓発
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・草木の手入れ不足による景観の悪化。 ・空き家の増加 ・耕作放棄地の増加等によるイノシシ被害の増加。	環境美化作業を継続的に実施し、地区内清掃活動推進を図る。また、イノシシなどの有害鳥獣による被害を防止する。 ●地区内清掃活動の実施 ●イノシシ対策事業(電気柵維持管理)の実施
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	・振興会役員の担い手不足や地域リーダーの育成が課題となっている。	多くの住民に振興会の事業に参加してもらうために、振興会活動や横浦島の魅力を定期的に発信していく。 ●振興会だよりの発行 ●ホームページの更新

# 御所浦北地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
C	納涼祭	夏に地域の世代間や帰省客との交流の場として、各地区で納涼祭を開催する。	8月に実施	→					地区	
C	御所浦北地区運動会	2年に一回運動会を開催し、島全体で体力づくりと親睦を図る。最近では島外からの参加者も増えている。	来場者300人以上	→		→		→	振興会	
D	青少年育成事業	地引網体験やレクリエーションを通じて健全な心身を育成し、「横浦島」に対する郷土愛を深めることを目的に実施する。	年1回実施	→					振興会 子ども会	
E	横浦島ウォーキング大会	横浦島に4コースを設定し、ウォーキングを楽しみながら健康増進、参加者同士の融和と親睦を図る事を目的とする。また参加者にはぜんざいを振る舞う。	参加者150人以上	→					振興会	
E	グラウンドゴルフ大会	子どもから高齢者まで世代間交流が図られるイベントとして、全住民を対象に開催する。	参加者80人以上	→					振興会	
E	ミニバレーボール大会	住民の融和と親睦、更には健康増進を図ることを目的として全世帯を対象に開催する。	参加者30人以上	→					振興会	
E	敬老会	敬老の日前に、80歳以上の高齢者を対象に開催する。式典では、金婚及びダイヤモンド婚の表彰や小中学生を含む地域の方の演芸等を披露してもらう。	年1回実施	→					振興会	
F	環境美化作業	きれいな島を目指し、クリーン作戦(島内一斉清掃)を実施する。	参加者200人以上	→					振興会	
F	イノシシ対策事業	耕作放棄地の増加等により、イノシシ等の有害鳥獣による農作物の被害が深刻化しているため、電気柵付近の除草等を行い、電気柵の維持管理に努める。	年1回以上	→					振興会	
H	振興会だより発行及びホームページの更新	振興会の活動を多くの住民にPRするため、振興会だよりを発行する。また、ホームページにより、横浦島の魅力を継続的に発信していく。	振興会だより、年2回発行 ホームページ、随時更新	→					振興会	
B	よこらじまキャンプ	廃校になった旧御所浦北中学校跡地で、地域住民と島外参加者との交流にもつながるキャンプイベントを実施し、横浦島の魅力を発信するとともに関係人口の創出・拡大を図る。	参加者50名	→					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。



地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km <sup>2</sup> )		6.4km <sup>2</sup>
人口(人)	総人口	702
	15歳未満	54
	15～64歳	265
	65歳以上	383
高齢化率(%)		54.6%
就業人口(人)	第1次産業	101
	第2次産業	56
	第3次産業	151
世帯数(世帯)	総世帯数	318
	高齢単身者	81
行政区数(区)		6区



嵐口春日神社(秋祭り風景)

学校	御所浦保育所
文化財・史跡	帆柱石、若宮様、嵐口鞆製鉄遺跡、炭坑堀跡、天満宮、金毘羅さん
その他地域資源	前島の化石海岸、化石散策ロード、背戸輪、ふれあい広場
地域伝統芸能	春日神社秋祭り、嵐口春日太鼓、嵐口獅子舞
地域づくり団体	十五夜会、嵐口クラブ

**地区のいいところ・自慢できるところ**

犯罪が少ない／自然豊か／伝統行事を大切にしている／スポーツが盛んである／人柄が良い・人情がある  
／地域のまとまりがある

**地区が抱える課題・困っていること**

若者の働く場所が少ない／耕作放棄地の増加／一人暮らしの高齢者の見守りや高齢者世帯の健康維持への懸念／安全な子どもの遊び場が少ない／ゴミのポイ捨てが多く見られる

◆◆◆ まちづくりの目標 ◆◆◆

テーマ	<b>安心して暮らせ、活気あふれる地域づくり</b>
考え方	嵐口地区は、今でも昔ながらの近所付き合いが続いている。人情味あふれる地域の特性を生かしたさらなる互助意識の向上と、加速する少子高齢化にも対応可能な支援体制の構築を目指した地域づくりを進める。また、町外との交流促進を図り活気あふれる地域を目指す。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・養殖を含む水産業の活気は以前ほどなく、水産物の出荷促進を図りたい。 ・後継者の就業は僅かながら進んでいる。	○水産物のアピール等による後継者確保 ・若手の就業者の新たな発想・手法等により水産物のブランド化や、6次産業化を目指し、雇用の創出を図る。
【B】 観光 ・ 文化	・国と熊本県の補助金を活用した「鳥峠トレッキングコース」が令和2年度より運用を始めた。嵐口地区には嵐口登山口が存在する。 ・嵐口春日太鼓保存会が町内外で活躍している。文化継承のための担い手の確保や育成は徐々に進んでおり、今後に期待できる。	○交流人口の増加による地域活性化 ・海、山、漁業集落の環境の保全を行う。 ・鳥峠トレッキングコースを活用した観光PRを図る。 ・春日太鼓保存会の島外活動(披露)を推進し、嵐口春日太鼓を通じて、嵐口地区、御所浦地域を島外にPRする。
【C】 地域 振興	子どもから高齢者まで地域住民全体で楽しめるイベントを開催している(納涼祭、各種スポーツ大会など)。	○みんなが参加するまちづくり ・多くの地区住民が参加できる事業を実施する。 ・これまで以上に地域住民が参加しやすいイベント内容等を検討する。
【D】 教育	敬老会等で地域の子どもたちと交流を図っている。	○地域が未来の大人を育むまちづくり 地域に暮らす子どもたちを地域・学校・保育所が協力しながら見守り育む。
【E】 保健・医療 ・福祉	・一人暮らしや高齢者のみの世帯割合は依然として高いが、近所付き合いがあるため孤独死等の不安は少ない。 ・島内唯一の診療所が嵐口地区にあり、ドクターの評判もよいことから、安心して暮らせる環境である。	○現在の環境を維持する。 近所同士の声掛けをさらに意識していく。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	犯罪の発生は見受けられず、安心して暮らせる環境であるが、台風や大雨による被害を受けやすい。	○安心安全で快適なまちづくり 啓発活動による防災への意識向上を図るとともに、自主防災組織の機能強化を推進する。
【G】 都市基盤整備	歩道がなく歩行者の通行時に危険な箇所がある。	○暮らしやすい機能的なまちづくり 危険箇所を確認し、注意喚起等を行い、事故防止に努める。
【H】 総務・企画		

# 嵐口地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
C	納涼祭	帰省も多いお盆時期に開催し、ステージイベントや出店などを実施。地域住民や帰省客等が来場。	来場者 300名以上						振興会	
E・D	敬老会	80歳以上を対象とし、40名程度が参加。金婚、ダイヤモンド婚等の表彰を行う。また、演芸等の催しには保育園児から中学生まで地域の子ども達が参加。	参加者 100名以上						振興会	
F	一日一汗運動	毎年7月の海の日に合わせて、早朝から各地区ごとに、海岸沿いの清掃作業を重点的に実施。	参加者 150名以上						振興会	
E・D	料理教室	地産地消を念頭に、子どもや高齢者もつくりことができるメニューを設定し、年2回程度実施。	参加者 1回あたり20名以上						振興会	
E	グラウンドゴルフ大会	高齢者の健康づくりはもとより、地域のふれあいを目的として年2回程度実施。対象は小学生以上。	参加者 1回あたり40名以上						振興会	
C	スポーツフェスティバル	ニュースポーツを用い、老若男女、気軽にスポーツに触れる機会を創出。年1回実施。	参加者 70名以上						振興会	
F	防災対策事業	各区または消防団組織で非常時の避難場所を定め、避難訓練を実施する。	実施回数 年1回以上						防災組織 振興会	
B	春日神社秋祭り	旧暦の10月29日前後の週末に春日神社の神事行われ、園児による踊りや地元の小中学生と春日太鼓保存会による春日太鼓、獅子舞会による獅子舞が奉納される。	参加者 200名以上 (参拝者含む)						神社 自治会 振興会	
B	トレッキングコース利用者のおもてなし	鳥峠トレッキングコース利用者へのおもてなしの一環として、休憩所の清掃等を実施する。	登山シーズンにおける休憩所やその周辺の清掃の実施 (月1回程度)						行政 振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

